

県の取り組み



県では、人と車が共生し、人と人とが触れ合う、にぎわいのある、新しい時代にふさわしいまちづくりを推進していきます。

「集う、商う、住まう」の観点からの支援

「集う」… 中心市街地に公共施設を整備するとともに、周辺地域からのアクセスの確保を促進します。
「商う」… 商業を活性化するため、中心市街地に商業の集積を図るとともに、商業の魅力向上を促進します。
「住まう」… 中心市街地の



今年4月オープン
福島学院大学駅前キャンパス(福島市)

居住人口を増やすため、住宅の整備など住みやすい環境の整備を促進します。

「商業まちづくり推進条例」の制定

店舗面積六千㎡以上の小売商業施設の新設を予定する事業者に対し届出を義務付けるものです。届出内容に基づき県は立地場所の適否について判断をします。その他に地域貢献活動を促進する規定を盛り込んでいます。

「ふくしまの新しいまちづくりチーム」の設置

「ふくしまの新しいまちづくりチーム」を設置し、中心市街地の再生に成功した英国ノッティンガム市の視察の成果などを踏まえ、社会実験による検証などを行いながら、まちづくりのビジョンを提案します。



歩行者を優先することで中心市街地を活性化したノッティンガム市



福島県知事
佐藤 栄佐久

「人」中心の「まちづくり」を目指して

深刻化する中心市街地の問題を放置すれば、高齢者や障がい者の皆さんの日常生活に不便を生じるほか、地域固有の伝統や文化が失われ活

力ある地域社会を維持できなくなる恐れがあります。こうした状況を踏まえ、県では、昨年十月に大型店の広域調整と地域貢献を柱とす

る全国に先駆けた「商業まちづくり推進条例」を制定しました。
まちへの愛着や誇りを持つて暮らしている人たちの生活を大切にしながら、新しい時代にふさわしい「人」中心のにぎわいのあるまちづくりができるよう、市町村や県民の皆さんとともに取り組んでまいります。

問 県庁商業まちづくりグループ ☎024(521)7290 [HP](http://www.pref.fukushima.jp/machidukuri/home/)

野菜編

発見

いいもの
うつくしま

駒みどり

「たらの芽」

山菜の王様といわれる「たらの芽」は、ほのかな苦さが春の到来を感じさせる食材です。収穫は、露地栽培では4月から、ハウスでの促成栽培は、露地ものより一足早い2月～3月にピークを迎えます。
天然のたらの芽はトゲがありますが、栽培用の品種「駒みどり」などは、トゲが少なく食べやすくなっています。
料理方法としては、天ぷらが定番ですが、和え物もおすすめで、ごま和え、ピー



問 県庁園芸振興グループ
☎024(521)7355